

4. 現在の避妊の状況についての小括

1. 妊や方法について相手と相談して決めていますか

望まない妊娠を避けるという背景を持つのは女性であり、どのような避妊法を取るのかという相談は常に女性が考えなければならないことといえよう。そのためには男性も相談にのり、しっかりとした避妊法を講じるのが男性の責任ともいえる。しかしながら「全く相談しない」というのが男性に約 4 分の 1 にみられる。この背景には男性主導のコンドームに未だ依存していることが考えられる。

女性主導の避妊法として低用量ピルや子宮内避妊具が使用できるようになってきたので、これらの避妊法も踏まえた避妊法の相談であってほしいところである。

2. この 1 年間における避妊の状況

この 1 年間における避妊の状況については、男女未既婚の別なく約 4 割近くが「いつも避妊をしている」であり、「避妊はしない」が既婚の男女とも特に 35 歳未満において高値であったことは妊娠しても良いという考えとして理解できる。

しかし、既婚の男女ともに「セックスをしていない」が 20% 近くに認められることは、Ⅲ章で述べたセックスレスが増えてきているところと一致しており、35 歳未満で 10% 弱であり 35 歳以上で 20% 前後ということは少子化の一端を覗かせているようにも思われる。

避妊を行わなかった際に妊娠のリスクを考えるのは、当然のことながら未婚者に多く、しかも、とても心配するのは未婚女性に高くなっていることを考えるなら、副作用のより少なくなった黄体ホルモン剤単独の緊急避妊薬の存在は必要なオプションといえよう。

1 年間に避妊をしなかったことがあったという理由は、既婚者では「子どもができてかまわない」や「子どもが欲しかった」が高いのは当然のこととして、未婚者において「子どもができてかまわなかった」が多いのは、妊娠を契機にして結婚を考えていることが窺われる。しかし、35 歳未満の男性において「面倒だった」と回答しているのが 20.8% にみられたことは、「子どもができてかまわない」という意識があるのかもしれない。しかし相手のことを考えるなら避妊のことについてよく相談すべきではないかと思われる。一方、「妊娠しないと思った」が 35 歳以上の女性に 28.6% にもみられたということは、後述する人工妊娠中絶へ繋がりがかねないので避妊への意識は強く持ってもらいたいところである。

3. 現在行っている避妊法について（ここでは 2 択の選択肢が与えられている）

男性は未既婚に関わらず「コンドーム」が 9 割以上を占めている。既婚男性では「膣外射精」と続いているが、未婚男性は 1 割を下回り「コンドーム」一辺倒の考えが強く表れていた。ピルの使用は 3.4% であり、前回調査時と殆ど同じ値であった。

女性でみると「コンドーム」の利用率が 8 割台へと下がっており、代わりに「膣外射精」の利用率が 2 割と増えている。未婚女性の 35 歳以上に 35% と特に高くなっており、女性にとってこの方法は避妊法ではないとの考えを強く持つべきといえよう。低用量ピルの利用率は 35 歳未満の既婚で 4.5%、35 歳以上の未婚で 16.7% と高くなってきている。この利用率は前回調査の 2.6% と 13.8% に比べ増えていることが示されている。女性が産む・産まないを決定する選択肢に是非入れてもらいたいものとする。

第Ⅵ章：コンドームについて

1. コンドームの使用状況

配偶者を含む決まった交際相手とのセックスでのコンドームの使用状況について問いかけている。男性では「必ず使用する」と回答したのが 175 名 (59.3%)、「時々使用」26.1%、「殆ど使用しない」9.8%であった。既婚者では「必ず使用」53.7%に対し未婚 64.3%と後者に 10.6 ポイント高値であったが有意の差ではなかった。「殆ど使用しない」は既婚 14.1%に対し未婚 5.6%と有意($p<0.05$)に低値であった。

表 1-1. 決まった交際相手とのセックスでコンドームを毎回使用しますか (男性)

	必ず使用		時々使用		殆ど使用しない		配偶者や決まった相手がいない		無回答		対象総数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
男性	175	59.3	77	26.1	29	9.8	8	2.7	6	2.0	295
既婚	80	53.7	44	29.5	21	14.1			4	2.7	149
25歳未満			1	100.0							1
25-34歳	21	50.0	13	31.0	8	19.0					42
35-44歳	41	57.7	22	31.0	6	8.5			2	2.8	71
45歳以上	18	51.4	8	22.9	7	20.0			2	5.7	35
未婚	92	64.3	33	23.1	8	5.6	8	5.6	2	1.4	143
25歳未満	25	69.4	10	27.8			1	2.8			36
25-34歳	38	58.5	17	26.2	4	6.2	4	6.2	2	3.1	65
35-44歳	17	65.4	5	19.2	1	3.8	3	11.5			26
45歳以上	12	75.0	1	6.3	3	18.8					16
未既婚不詳	3	100.0									3
35-44歳	2	100.0									2
45歳以上	1	100.0									1

女性では「必ず使用する」189名 (55.9%)、「時々使用」28.7%、「殆ど使用しない」8.0%であり、男性とほぼ同じであった。既婚者では「必ず使用」62.3%に対し未婚 47.3%と後者に 15.0 ポイント低値であり有意差($p<0.05$)を認めた。「殆ど使用しない」は既婚 4.4%に対し未婚 13.0%と有意($p<0.01$)に高値であった。

未既婚別男女間の違いにおいては既婚男性「殆ど使用しない」が 14.1%に対し既婚女性 4.4%と有意差($p<0.01$)を認めた。また、未婚男性は「必ず使用する」が 64.3%に対し未婚女性 47.3%と有意($p<0.01$)に低値を示していた。

表 1-2. 決まった交際相手とのセックスでコンドームを毎回使用しますか (女性)

	必ず使用		時々使用		殆ど使用しない		配偶者や決まった相手がいない		無回答		対象総数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
女性	189	55.9	97	28.7	27	8.0	3	0.9	22	6.5	338
既婚	127	62.3	57	27.9	9	4.4			11	5.4	204
25歳未満	2	28.6	3	42.9					2	28.6	7
25-34歳	23	44.2	23	44.2	4	7.7			2	3.8	52
35-44歳	68	68.7	22	22.2	5	5.1			4	4.0	99
45歳以上	34	73.9	9	19.6					3	6.5	46
未婚	62	47.3	39	29.8	17	13.0	3	2.3	10	7.6	131
25歳未満	29	56.9	12	23.5	7	13.7	1	2.0	2	3.9	51
25-34歳	25	49.0	16	31.4	4	7.8	2	3.9	4	7.8	51
35-44歳	8	34.8	8	34.8	4	17.4			3	13.0	23
45歳以上			3	50.0	2	33.3			1	16.7	6
未既婚不詳			1	33.3	1	33.3			1	33.3	3
25歳未満									1	100.0	1
25-34歳			1	50.0	1	50.0					2
35-44歳											0
45歳以上											0
総計	364	57.5	174	27.5	56	8.8	11	1.7	28	4.4	633

2. 決まった交際相手以外の相手とのコンドーム使用状況

決まった交際相手以外の相手とのコンドームの使用状況を問いかけている。「決まった交際相手以外とはしない」と回答した男性は 162 名 (54.9%)、既婚で 67.8%、未婚 42.0% と有意($p<0.001$)に低値を示していた。

同じように女性をみると表 2-3 の如くで「決まった交際相手以外とはしない」と回答した女性は 259 名 (76.6%)、既婚 81.4%、未婚 70.2% と後者が低値で両者間に有意差($p<0.05$)を認めた。男女の未既婚間にもそれぞれ有意差($P<0.01$, $p<0.001$)を認めた。

表 2-1. 決まった交際相手以外とのセックスでコンドームを毎回使用しますか (男性)

	必ず使用		時々使用		殆ど使用しない		決まった交際相手以外とはしない		無回答		対象総数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
男性	85	28.8	27	9.2	10	3.4	162	54.9	11	3.7	295
既婚	29	19.5	12	8.1	3	2.0	101	67.8	4	2.7	149
25歳未満							1	100.0			1
25-34歳	5	11.9	4	9.5			30	71.4	3	7.1	42
35-44歳	10	14.1	8	11.3			52	73.2	1	1.4	71
45歳以上	14	40.0			3	8.6	18	51.4			35
未婚	55	38.5	15	10.5	6	4.2	60	42.0	7	4.9	143
25歳未満	7	19.4	3	8.3	1	2.8	23	63.9	2	5.6	36
25-34歳	26	40.0	9	13.8	1	1.5	26	40.0	3	4.6	65
35-44歳	13	50.0	3	11.5	1	3.8	7	26.9	2	7.7	26
45歳以上	9	56.3			3	18.8	4	25.0			16
未既婚不詳	1	33.3			1	33.3	1	33.3			3
35-44歳	1	50.0			1	50.0					2
45歳以上							1	100.0			1

対象総計を分母にして「必ず使用する」をみると 85 名で 28.8%、「時々使用」9.2%、「殆ど使用しない」3.4%となるが、決まった交際相手以外とのセックスでのコンドームの使用状況をみるのが主であるため、3 択を回答したものを分母として考えることにする。

表 2-2. 決まった交際相手以外とのセックスでコンドームを毎回使用しますか (男性)

	必ず使用		時々使用		殆ど使用しない		対象計		総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
男性	85	69.7	27	22.1	10	8.2	122	18.2	671
既婚	29	65.9	12	27.3	3	6.8	44	13.5	325
35歳未満	5	55.6	4	44.4			9	10.3	87
35歳以上	24	68.6	8	22.9	3	8.6	35	14.7	238
未婚	55	72.4	15	19.7	6	7.9	76	22.2	342
35歳未満	33	70.2	12	25.5	2	4.3	47	18.9	249
35歳以上	22	75.9	3	10.3	4	13.8	29	31.2	93

決まった交際相手以外の相手とセックスを行っているのが男性で 122 名 (18.2%) あった。既婚者は 44 名 (13.5%)、未婚 76 名 (22.2%) と両者間に有意差($p < 0.01$)を認めた。

尚、男性総数 122 名と未既婚総計 120 名と 2 名不足しているのは未既婚不詳が 2 名存在しているためである。

不特定パートナーとのセックスにおけるコンドームの常用率は男性全体で 69.7%、既婚 65.9%、未婚 72.4%と後者に高値を示すも有意差は認めなかった。35 歳を境にしても 35 歳以上において高値を示すも有意な差はなかった。

表 2-3. 決まった交際相手以外とのセックスでコンドームを毎回使用しますか（女性）

	必ず使用		時々使用		殆ど使用しない		決まった交際相手以外とはしない		無回答		対象総数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
女性	37	10.9	14	4.1	4	1.2	259	76.6	24	7.1	338
既婚	16	7.8	3	1.5	1	0.5	166	81.4	18	8.8	204
25歳未満	1	14.3					6	85.7			7
25-34歳	3	5.8	2	3.8			43	82.7	4	7.7	52
35-44歳	10	10.1	1	1.0	1	1.0	81	81.8	6	6.1	99
45歳以上	2	4.3					36	78.3	8	17.4	46
未婚	21	16.0	10	7.6	2	1.5	92	70.2	6	4.6	131
25歳未満	11	21.6	5	9.8			32	62.7	3	5.9	51
25-34歳	9	17.6	4	7.8	1	2.0	36	70.6	1	2.0	51
35-44歳	1	4.3	1	4.3	1	4.3	18	78.3	2	8.7	23
45歳以上							6	100.0			6
未既婚不詳			1	33.3	1	33.3	1	33.3			3
25歳未満			1	100.0							1
25-34歳					1	50.0	1	50.0			2
35-44歳											0
45歳以上											0
総計	122	19.3	41	6.5	14	2.2	421	66.5	35	5.5	633

決まった交際相手以外の相手とセックスを行っているのが女性で 55 名 (6.3%) あった。既婚者は 20 名 (4.1%)、未婚 33 名 (8.8) と両者間に有意差 ($p < 0.01$) を認めた。男女間の未既婚においてもそれぞれ有意差 ($p < 0.05$, $p < 0.001$) を認めた。

不特定パートナーとのセックスにおけるコンドームの常用率は女性全体で 67.3%、既婚 80.0%、未婚 63.6% と前者に高値を示すも有意差は認めなかった。

表 2-4. 決まった交際相手以外とのセックスでコンドームを毎回使用しますか（女性）

	必ず使用		時々使用		殆ど使用しない		対象計		総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
女性	37	67.3	14	25.5	4	7.3	55	6.3	869
既婚	16	80.0	3	15.0	1	5.0	20	4.1	485
35歳未満	4	66.7	2	33.3		0.0	6	4.5	132
35歳以上	12	85.7	1	7.1	1	7.1	14	4.0	353
未婚	21	63.6	10	30.3	2	6.1	33	8.8	377
35歳未満	20	66.7	9	30.0	1	3.3	30	11.7	257
35歳以上	1	33.3	1	33.3	1	33.3	3	2.5	120

3. コンドームを使用する理由

コンドームを使用している主たる理由を問いかけている。その最大の理由は、「確実な避妊」を目的としているのが男性で130名(44.1%)、既婚 47.0%、未婚 39.9%と半数近くを占めていた。次いで多かったのが「性感染症予防のため」が14.9%であり、既婚 10.1%、未婚 20.3%と、この考えに対する認識は未婚者に高値であり有意差(p<0.05)を認めた。その他の理由としては「よく使われているから」や「安心できるから」であった。

表 4-5. コンドームを使っている最も大きな理由 (男性)

	男性		既婚		35歳未満		35歳以上		未婚		35歳未満		35歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
性感染症予防のため	44	14.9	15	10.1	2	4.7	13	12.3	29	20.3	16	15.8	13	31.0
確実な避妊	130	44.1	70	47.0	23	53.5	47	44.3	57	39.9	38	37.6	19	45.2
相手が使っている														
コンドーム以外の方法を知らない	15	5.1	8	5.4	3	7.0	5	4.7	7	4.9	7	6.9		
値段が安い	2	0.7	2	1.3	1	2.3	1	0.9						
どこでも手に入る	19	6.4	5	3.4	0	0.0	5	4.7	14	9.8	11	10.9	3	7.1
安心できるから	26	8.8	14	9.4	5	11.6	9	8.5	12	8.4	8	7.9	4	9.5
よく使われているから	28	9.5	16	10.7	5	11.6	11	10.4	12	8.4	11	10.9	1	2.4
何となく	13	4.4	10	6.7	3	7.0	7	6.6	3	2.1	3	3.0		
この中に入らない	14	4.7	6	4.0	1	2.3	5	4.7	8	5.6	6	5.9	2	4.8
無回答	4	1.4	3	2.0	0	0.0	3	2.8	1	0.7	1	1.0		
対象総数	295	100.0	149	100.0	43	100.0	106	100.0	143	100.0	101	100.0	42	100.0

女性においても同様であり「確実な避妊」を挙げるのが全体で 37.9%、既婚 42.2%、未婚 32.1%であった。「性感染症予防のため」は 33名(9.8%)と男性より 5.1ポイント下回っていたが有意差は認めなかった。既婚は 5.4%、未婚 16.0%と既婚者が有意(p<0.01)に低値を示していた。その他の理由としては「どこでも手に入るから」、「よく使われているから」や「安心できるから」であった。

表 4-6. コンドームを使っている最も大きな理由 (女性)

	女性		既婚		35歳未満		35歳以上		未婚		35歳未満		35歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
性感染症予防のため	33	9.8	11	5.4	4	6.8	7	4.8	21	16.0	18	17.6	3	10.3
確実な避妊	128	37.9	86	42.2	17	28.8	69	47.6	42	32.1	31	30.4	11	37.9
相手が使っている	25	7.4	12	5.9	4	6.8	8	5.5	13	9.9	8	7.8	5	17.2
コンドーム以外の方法を知らない	13	3.8	11	5.4	6	10.2	5	3.4	2	1.5	2	2.0		
値段が安い	4	1.2	3	1.5	2	3.4	1	0.7	1	0.8	1	1.0		
どこでも手に入る	36	10.7	17	8.3	5	8.5	12	8.3	18	13.7	16	15.7	2	6.9
安心できるから	32	9.5	22	10.8	5	8.5	17	11.7	10	7.6	9	8.8	1	3.4
よく使われているから	31	9.2	18	8.8	3	5.1	15	10.3	12	9.2	11	10.8	1	3.4
何となく	8	2.4	6	2.9	4	6.8	2	1.4	2	1.5	1	1.0	1	3.4
この中にない	10	3.0	7	3.4	4	6.8	3	2.1	3	2.3	2	2.0	1	3.4
無回答	18	5.3	11	5.4	5	8.5	6	4.1	7	5.3	3	2.9	4	13.8
対象総数	338	100.0	204	100.0	59	100.0	145	100.0	131	100.0	102	100.0	29	100.0

前項で述べた「決まった交際相手以外とのセックスでコンドームを毎回使用しますか」との間に「必ず」「時々」「殆ど」と回答のあった者だけを抽出してみたのが表 4-7 & 8 に示す。既婚男性は回答のあったもので、「常用する」の欄は「必ず使用する」と答えたもののみを示す。これによると既婚男性は STD 予防と確実な避妊が同じ数値となっているが、常用する者は避妊よりも STD 予防のための 31.0% に対し 44.8% と多くなっている。未婚は STD よりも避妊が主であって、常用者においても STD より避妊のためが多かった。

表 4-7. 不特定の相手との可能性のある男性のコンドーム使用の理由

	既婚男性		常用する		未婚男性		常用する	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
性感染症予防のため	14	31.8	13	44.8	25	32.9	20	36.4
確実な避妊	14	31.8	9	31.0	29	38.2	24	43.6
相手が使っている								
コンドーム以外の方法を知らない	2	4.5			4	5.3	4	7.3
値段が安い								
どこでも手に入る	1	2.3	1	3.4	5	6.6	1	1.8
安心できるから	3	6.8	1	3.4	5	6.6	3	5.5
よく使われているから	3	6.8	2	6.9	3	3.9	1	1.8
何となく	5	11.4	2	6.9	3	3.9	2	3.6
この中に入らない	1	2.3	1	3.4	2	2.6		
総計	44	100.0	29	100.0	76	100.0	55	100.0

既婚女性は確実な避妊が 40.0% と高く、STD の予防は 20.0% と半数であった。常用する者のみにおいても確実な避妊であって STD 予防のための 18.8% と少なくなっていた。未婚は STD よりも避妊が主であるも既婚に比べ STD 予防のためにも多くなっていた。常用者では STD 予防と避妊が同じ値となっていた。

表 4-8. 不特定の相手との可能性のある女性のコンドーム使用の理由

	既婚女性		常用する		未婚女性		常用する	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
性感染症予防のため	4	20.0	3	18.8	8	24.2	6	28.6
確実な避妊	8	40.0	7	43.8	10	30.3	6	28.6
相手が使っている					3	9.1		
コンドーム以外の方法を知らない	3	15.0	3	18.8				
値段が安い	1	5.0	1	6.3	1	3.0	1	4.8
どこでも手に入る	1	5.0	1	6.3	6	18.2	5	23.8
安心できるから	2	10.0	1	6.3	3	9.1	2	9.5
よく使われているから								
何となく					1	3.0		
この中に入らない	1	5.0			1	3.0	1	4.8
総計	20	100.0	16	100.0	33	100.0	21	100.0

4. コンドームについての小括

1. コンドームの使用状況

配偶者を含む特定のパートナーとのセックス時の常用率であるが、男性は「必ず使用する」が60%を占め、「時々使用する」26%であり、女性は必ずが56%、時々が29%、これらの目的は避妊としての使用である。したがって、前項で述べたコンドームの避妊法として用いている割合と一致している。

2. 決まった交際相手以外の相手とのコンドームの使用状況

コンドームを「必ず使用する」が19.5%、「時々使用」8.1%、「殆ど使用しない」2.0%と既婚男性は回答していた。ということは配偶者以外とのセックスの関係を持っていたことになる。逆に、「決まった交際相手以外とはしない」と明確に回答していたのが67.8%と不特定のセックスパートナーの関係性を29.6%が示唆していたことになる。未婚者では約半数が不特定パートナーを示唆していた。その考えで女性をみると、既婚では9.8%、未婚25.1%となる。

このことはⅢ章で述べた「決まった交際相手以外の相手がいる」と回答した既婚男性は7.0%であり、未婚9.2%に比べ、不特定との関係性を持つものはかなりの広がりを見せていることになる。同様に女性は既婚4.1%、未婚9.4%であり、倍以上の広がりを示唆している。

この関係性においては、避妊もさることながら性感染症(STD)のリスクも背負い込むことになる。STDの可能性を考えると常用率をみなければならない。不特定パートナーとの関係性を示唆する者を分母においてみたのが表2-2と表2-4である。既婚男性の常用率は65.9%、未婚は72.4%となる。女性における常用率では既婚80.0%、63.6%である。STD回避の意識として既婚男性と未婚女性において高くなっていることが示されたのである。

3. コンドームを使用する最も大きな理由

コンドームを使用する最も大きな理由は、選択肢が1択のため回答が分散されており「確実な避妊」が既婚男性に多く、STD予防のためが低かった。未婚男性では避妊が主体であるもSTD予防のためが多くなっていた。しかし、この考えの中には特定のパートナーの含む割合がかなり多く含まれているため、決まった相手以外でのコンドームの使用について回答者を絞ってみると確実な避妊よりもSTD予防のためが増加していた。既婚男性においてはコンドーム常用者においてSTD予防のためが多く、逆転していた。未婚男性においては避妊が先に来ているもののSTD予防のための考えも強くなっていると思われた。

女性においては避妊が主体となっており、特に既婚では避妊が主体でSTD予防が未婚に比べわずか5%程度にしかなく、その意識が未婚女性に比べ低いことが明らかとなった。未婚女性も35歳を超えるとSTDへの意識が低くなることが示されていた。不特定の相手の場合になると、既婚であってもSTD予防という認識が高まっており、未婚においてはその認識がより強くなっていることが窺われた。

第Ⅶ章：低用量ピルについて

1. 低用量ピルの使用意向

低用量ピルの使用意向について問いかけているが、男性では「既に使用している」12名(1.8%)、「是非使いたい(使いたわせたい)」9.8%であり、「使いたくない(使わせたくない)」が70.5%であった。これを未既婚別でみると「既に使用している」が既婚1.5%、未婚2.0%、「是非使いたい」既婚6.8%、未婚12.3%であり、未既婚で比較すると未婚男性はピルを使用して欲しいと考えるものが有意($p<0.001$)に高値であった。

表 1-1. 低用量ピルの使用意向 (男性からの視点)

	既に使用している		是非使いたい		将来は使いたい		使いたくない		無回答		総計
男性	12	1.8	66	9.8	66	9.8	473	70.5	54	8.0	671
既婚	5	1.5	22	6.8	25	7.7	249	76.6	24	7.4	325
25歳未満							2	100.0			2
25-34歳	2	2.4	6	7.1	5	5.9	67	78.8	5	5.9	85
35-44歳	2	1.2	12	7.4	15	9.3	121	74.7	12	7.4	162
45歳以上	1	1.3	4	5.3	5	6.6	59	77.6	7	9.2	76
未婚	7	2.0	42	12.3	41	12.0	224	65.5	28	8.2	342
25歳未満	1	0.8	16	12.9	14	11.3	91	73.4	2	1.6	124
25-34歳	1	0.8	14	11.2	18	14.4	80	64.0	12	9.6	125
35-44歳	3	4.5	7	10.6	5	7.6	40	60.6	11	16.7	66
45歳以上	2	7.4	5	18.5	4	14.8	13	48.1	3	11.1	27
未既婚不詳			2	50.0					2	50.0	4
35-44歳			1	33.3					2	66.7	3
45歳以上			1	100.0							1

35歳を境にしてみると35歳未満では既婚「使用している」2.3%、「使用したい」6.9%、計9.2%に対し35歳以上では未婚0.8%、12.0%、計12.8%となっていた。

表 1-2. 35歳区分別低用量ピルの使用意向 (重複掲載)

	既に使用している		是非使いたい		将来は使いたい		使いたくない		無回答		総計
男性	12	1.8	66	9.8	66	9.8	473	70.5	54	8.0	671
既婚	5	1.5	22	6.8	25	7.7	249	76.6	24	7.4	325
35歳未満	2	2.3	6	6.9	5	5.7	69	79.3	5	5.7	87
35歳以上	3	1.3	16	6.7	20	8.4	180	75.6	19	8.0	238
未婚	7	2.0	42	12.3	41	12.0	224	65.5	28	8.2	342
35歳未満	2	0.8	30	12.0	32	12.9	171	68.7	14	5.6	249
35歳以上	5	5.4	12	12.9	9	9.7	53	57.0	14	15.1	93

女性の「既に使用している」は2.3%と男性の1.8%に比べ有意($p<0.001$)に高値であった。既婚1.6%であり未婚3.2%と未婚者が高値であり有意差($p<0.001$)を認めた。「是非使いたい」と考えるのが既婚5.6%、未婚11.4%と未婚者が有意($p<0.001$)に高値であった。「使っている」と「是非使いたい」を含めると既婚者では7.2%、未婚14.6%であった。逆に、「使いたくない」と答える者が73.3%であり、既婚79.0%に対し未婚66.6%と既婚者において否定するのが有意($p<0.001$)に高値を示していた。

35歳を境にしてみると、既婚の35歳未満の「使用している」2.3%、「使いたい」9.1%、計11.4%に対し、35歳以上1.4%と4.2%、計5.6%と35歳未満が有意($p<0.05$)に高値であ

った。未婚では35歳未満の「使用している」1.2%、「使いたい」14.4%に対し、35歳以上7.5%と5.0%、計12.5%であり、「既に使用している」が35歳以上が有意(p<0.01)に高値で35歳未満において「使いたい」が有意(p<0.05)に高くなっていた。

表 1-3. 低用量ピルの使用意向（女性）

	既に使用している		是非使いたい		将来は使いたい		使いたくない		無回答		総計
女性	20	2.3	70	8.1	76	8.7	637	73.3	66	7.6	869
既婚	8	1.6	27	5.6	34	7.0	383	79.0	33	6.8	485
25歳未満	1	7.1			2	14.3	11	78.6			14
25-34歳	2	1.7	12	10.2	13	11.0	88	74.6	3	2.5	118
35-44歳	2	0.9	12	5.4	14	6.3	181	81.2	14	6.3	223
45歳以上	3	2.3	3	2.3	5	3.8	103	79.2	16	12.3	130
未婚	12	3.2	43	11.4	42	11.1	251	66.6	29	7.7	377
25歳未満	3	2.0	23	15.4	15	10.1	95	63.8	13	8.7	149
25-34歳			14	13.0	13	12.0	75	69.4	6	5.6	108
35-44歳	8	9.0	5	5.6	14	15.7	58	65.2	4	4.5	89
45歳以上	1	3.2	1	3.2			23	74.2	6	19.4	31
未既婚不詳							3	42.9	4	57.1	7
25歳未満							1	50.0	1	50.0	2
25-34歳							2	66.7	1	33.3	3
35-44歳									1	100.0	1
45歳以上									1	100.0	1
総計	32	2.1	136	8.8	142	9.2	1,110	72.1	120	7.8	1,540

表 1-4. 35歳区分別低用量ピルの使用意向（重複掲載）

	既に使用している		是非使いたい		将来は使いたい		使いたくない		無回答		総計
女性	20	2.3	70	8.1	76	8.7	637	73.3	66	7.6	869
既婚	8	1.6	27	5.6	34	7.0	383	79.0	33	6.8	485
35歳未満	3	2.3	12	9.1	15	11.4	99	75.0	3	2.3	132
35歳以上	5	1.4	15	4.2	19	5.4	284	80.5	30	8.5	353
未婚	12	3.2	43	11.4	42	11.1	251	66.6	29	7.7	377
35歳未満	3	1.2	37	14.4	28	10.9	170	66.1	19	7.4	257
35歳以上	9	7.5	6	5.0	14	11.7	81	67.5	10	8.3	120

2. 低用量ピルを使う最も大きな理由

低用量ピルの使用意向を持つ最も大きな理由として、男性では「避妊効果が高い」が46.2%、既婚33.3%、未婚51.0%であり、次は「セックスの時に避妊を意識しなくて済む」21.8%、既婚29.6%、未婚18.4%、「女性自身の意思で使える」15.4%、既婚11.1%、未婚18.4%と続いていた。

表 2-1. 低用量ピルを使用する最も大きな理由

	男性		既婚		35歳未満		35歳以上		未婚		35歳未満		35歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
避妊効果が高い	36	46.2	9	33.3	1	12.5	8	42.1	25	51.0	19	59.4	6	35.3
手軽に使える	1	1.3	1	3.7			1	5.3						
低用量だから副作用が少ない	1	1.3							1	2.0			1	5.9
女性自身の意思で使える	12	15.4	3	11.1	1	12.5	2	10.5	9	18.4	7	21.9	2	11.8
セックスの時に避妊を意識しなくて済む	17	21.8	8	29.6	4	50.0	4	21.1	9	18.4	4	12.5	5	29.4
人工妊娠中絶をしなくて済む	2	2.6	2	7.4	1	12.5	1	5.3						
多くの国で使われている														
月経痛の緩和や負血の予防などの副効用	3	3.8	2	7.4	1	12.5	1	5.3	1	2.0			1	5.9
この中にならない	5	6.4	2	7.4			2	10.5	3	6.1	2	6.3	1	5.9
無回答	1	1.3							1	2.0			1	5.9
対象総計	78	100.0	27	100.0	8	100.0	19	100.0	49	100.0	32	100.0	17	100.0

女性においては、「避妊効果が高い」が33.3%、既婚37.1%、未婚30.9%と男性に比べ低値であり、次は「月経痛の緩和や貧血の予防などの副効用」で26.7%、既婚34.3%、未婚21.8%、「女性自身の意思で使える」15.6%、既婚8.6%、未婚20.0%と続いていた。「セックスの時に避妊を意識しなくて済む」は10.0%であり、既婚14.3%、未婚7.3%と有意差は認めないものの低値であった。

表 2-2. 低用量ピルを使用する最も大きな理由

	女性		既婚		35歳未満		35歳以上		未婚		35歳未満		35歳以上	
	30	33.3	13	37.1	6	40.0	7	35.0	17	30.9	12	30.0	5	33.3
避妊効果が高い	1	1.1							1	1.8			1	6.7
手軽に使える	2	2.2							2	3.6	2	5.0		
低用量だから副効用が少ない	14	15.6	3	8.6			3	15.0	11	20.0	8	20.0	3	20.0
女性自身の意思で使える	9	10.0	5	14.3	3	20.0	2	10.0	4	7.3	3	7.5	1	6.7
セックスの時に避妊を意識しなくて済む	5	5.6	1	2.9				5.0	4	7.3	3	7.5	1	6.7
人工妊娠中絶をしなくて済む	1	1.1							1	1.8	1	2.5		
多くの国で使われている	24	26.7	12	34.3	5	33.3	7	35.0	12	21.8	9	22.5	3	20.0
月経痛の緩和や貧血の予防などの副効用	3	3.3	1	2.9	1	6.7			2	3.6	2	5.0		
この中にならない	1	1.1							1	1.8			1	6.7
無回答														
対象総計	90	100.0	35	100.0	15	100.0	20	100.0	55	100.0	40	100.0	15	100.0

低用量ピルは、経口避妊薬として承認され使用されているのだが、その他に月経痛の緩和や貧血の予防効果など女性にとって多くのメリットをもたらすという副効用があることは服用する女性には周知のところとなってきている。実際にピル服用意向のあるものに対して「避妊が目的か」、「副効用が目的か」、「避妊と副効用の両方が目的か」の3択の問いかけをしている。

男性の回答は「避妊が目的」が78名中54名(69.2%)、既婚59.3%に対し未婚73.5%であり、「副効用のみ」2名(2.6%)のみでいずれも既婚であった。「避妊と副効用の両者」は14.1%であり、未既婚間に違いは認められなかった。

女性の回答は「避妊が目的」が90名中33名(36.7%)、既婚40.0%に対し未婚34.5%であり、「副効用のみ」は17名(18.9%)、既婚20.0%、未婚18.2%であった。「避妊と副効用の両者」は32.2%であり、既婚28.6%、未婚34.5%であった。未婚において副効用の考えがやや浸透しているものと思われた。また男性は副効用の考えには未だ及んでいなかった。

表 2-3. 低用量ピルを使う目的

	避妊が目的		副効用を		避妊と副効用		無回答		対象総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
男性	54	69.2	2	2.6	11	14.1	11	14.1	78
既婚	16	59.3	2	7.4	4	14.8	5	18.5	27
35歳未満	5	62.5	1	12.5			2	25.0	8
35歳以上	11	57.9	1	5.3	4	21.1	3	15.8	19
未婚	36	73.5			7	14.3	6	12.2	49
35歳未満	25	78.1			3	9.4	4	12.5	32
35歳以上	11	64.7			4	23.5	2	11.8	17

表 2-4. 低用量ピルを使う目的

	避妊が目的		副効用を		避妊と副効用		無回答		対象総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
女性	33	36.7	17	18.9	29	32.2	11	12.2	90
既婚	14	40.0	7	20.0	10	28.6	4	11.4	35
35歳未満	6	40.0	2	13.3	3	20.0	4	26.7	15
35歳以上	8	40.0	5	25.0	7	35.0			20
未婚	19	34.5	10	18.2	19	34.5	7	12.7	55
35歳未満	15	37.5	7	17.5	14	35.0	4	10.0	40
35歳以上	4	26.7	3	20.0	5	33.3	3	20.0	15

実際に低用量ピルを服用している女性（男性はパートナーに服用させている）に問いかけている。男性では「満足している」50.0%、「まあ満足している」25.0%と満足度は75.0%であった。

女性は「満足している」45.0%、「まあ満足している」25.0%と満足度は70.0%であった。

表 2-5. 低用量ピル使用に際しての満足度

	満足している		まあ満足		やや不満		不満である		無回答		対象総数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
男性	6	50.0	3	25.0			1	8.3	2	16.7	12
既婚	2	40.0	2	40.0			1	20.0			5
35歳未満	2	100.0									2
35歳以上			2	66.7			1	33.3			3
未婚	4	57.1	1	14.3					2	28.6	7
35歳未満	1	50.0	1	50.0							2
35歳以上	3	60.0							2	40.0	5

表 2-6. 低用量ピル使用に際しての満足度

	満足している		まあ満足		やや不満		不満である		無回答		対象総数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
女性	9	45.0	5	25.0	3	15.0	2	10.0	1	5.0	20
既婚	4	50.0	1	12.5	1	12.5	2	25.0			8
35歳未満	1	33.3	1	33.3			1	33.3			3
35歳以上	3	60.0			1	20.0	1	20.0			5
未婚	5	41.7	4	33.3	2	16.7			1	8.3	12
35歳未満	1	33.3	2	66.7							3
35歳以上	4	44.4	2	22.2	2	22.2			1	11.1	9

3. 低用量ピルを使わない最も大きな理由

低用量ピルを使わない最も大きな理由について問いかけています。男性は「副作用が心配」と回答するものが301名(55.8%)、既婚54.0%、未婚57.7%、「女性だけに負担がかかる」9.3%、「情報が入りできない」7.4%、「すでに使っている避妊法で十分」6.1%と続いていた。また「ここにはない」12.6%あった。

表 2-7. 低用量ピルを使わない最も大きな理由

	男性						女性							
	301	55.8	148	54.0	37	50.0	111	55.5	153	57.7	111	54.7	42	67.7
副作用が心配	40	7.4	20	7.3	5	6.8	15	7.5	20	7.5	17	8.4	3	4.8
情報が入りできない	3	0.6	2	0.7	1	1.4	1	0.5	1	0.4	1	0.5		
相談する場所がない	8	1.5	6	2.2	2	2.7	4	2.0	2	0.8	2	1.0		
毎日飲まなければならないのは面倒	50	9.3	26	9.5	11	14.9	15	7.5	24	9.1	17	8.4	7	11.3
女性だけに負担がかかる	33	6.1	22	8.0	7	9.5	15	7.5	11	4.2	11	5.4		
すでに使っている避妊法で十分	15	2.8	6	2.2	1	1.4	5	2.5	9	3.4	7	3.4	2	3.2
性感染症やエイズを予防できない	5	0.9	3	1.1			3	1.5	2	0.8	2	1.0		
費用がかかりすぎる	4	0.7	4	1.5	2	2.7	2	1.0						
配偶者やパートナーが反対している	6	1.1	2	0.7			2	1.0	4	1.5	4	2.0		
医師の検査・診察を受けるのが面倒	1	0.2	1	0.4			1	0.5						
年齢が高いので使えない	1	0.2		0.0					1	0.4	1	0.5		
病気があるため使えない	68	12.6	32	11.7	8	10.8	24	12.0	36	13.6	28	13.8	8	12.9
ここにはない	4	0.7	2	0.7			2	1.0	2	0.8	2	1.0		
無回答	539	100.0	274	100.0	74	100.0	200	100.0	265	100.0	203	100.0	62	100.0
対象総数														

女性は「副作用が心配」と回答するものが353名(49.5%)、既婚46.5%、未婚53.9%、「すでに使っている避妊法で十分」9.1%、既婚12.5%、未婚11.9%、「毎日飲まなければならないのは面倒」7.3%、「情報が入手できない」6.0%と続いていた。また「女性だけに負担がかかる」3.6%であり、「ここにはない」が11.6%であった。

表2-7. 低用量ピルを使わない最も大きな理由

	女性						35歳未満		35歳以上		未婚		35歳未満		35歳以上	
	353	49.5	194	46.5	49	43.0	145	47.9	158	53.9	106	53.5	52	54.7		
副作用が心配	43	6.0	23	5.5	7	6.1	16	5.3	20	6.8	15	7.6	5	5.3		
情報が入手できない	2	0.3	1	0.2	1	0.9	0	0.0	1	0.3	1	0.5				
相談する場所がない	52	7.3	34	8.2	13	11.4	21	6.9	18	6.1	14	7.1	4	4.2		
毎日飲まなければならないのは面倒	26	3.6	12	2.9	2	1.8	10	3.3	13	4.4	9	4.5	4	4.2		
女性だけに負担がかかる	65	9.1	52	12.5	16	14.0	36	11.9	13	4.4	8	4.0	5	5.3		
すでに使っている避妊法で十分	21	2.9	8	1.9	1	0.9	7	2.3	13	4.4	7	3.5	6	6.3		
性感染症やエイズを予防できない	23	3.2	15	3.6	7	6.1	8	2.6	8	2.7	6	3.0	2	2.1		
費用がかかりすぎる	2	0.3	2	0.5	1	0.9	1	0.3								
配偶者やパートナーが反対している	24	3.4	9	2.2	3	2.6	6	2.0	15	5.1	13	6.6	2	2.1		
医師の検査・診察を受けるのが面倒	9	1.3	6	1.4			6	2.0	3	1.0	1	0.5	2	2.1		
年齢が高いので使えない	6	0.8	3	0.7			3	1.0	3	1.0	1	0.5	2	2.1		
病気があるため使えない	83	11.6	54	12.9	12	10.5	42	13.9	28	9.6	17	8.6	11	11.6		
ここにはない	4	0.6	4	1.0	2	1.8	2	0.7								
無回答																
対象総数	713	100.0	417	100.0	114	100.0	303	100.0	293	100.0	198	100.0	95	100.0		

4. 低用量ピルについての小括

1. 低用量ピルの使用意向

現在既に使用しているのは、既婚男性 1.5%、未婚男性 2.0%、既婚女性 1.6%、未婚女性 3.2%であり、男性は前回調査と殆ど同じであるが、女性では 35 歳未満の既婚が増え、未婚は 35 歳以上に増加がみられており、確実な避妊法としての意識が高まってきているように窺われた。是非使いたいを含めても前回調査と大きな違いは認められなかった。

2. 低用量ピルを使う最も大きな理由

男性は避妊効果が高くセックスの時に避妊の時に意識せずに済むという考えであったが、女性は避妊効果の次にくるものとして月経痛の緩和や貧血の予防などの副効用を挙げるものが増えてきており、前回調査時よりも 2 倍以上となり副効用の認識が高まっていた。

そのためピルを使用する目的として避妊のみと考える女性は約 4 割強、避妊と副効用を併せ考えるのが 4 割弱、残り 2 割が副効用のみとなってきた。このようなピルの副効用に対する理解度が増すことにより普及は加速していくものと考えられる。

そして実際に服用しているものにその満足度についてみると 7 割が満足しており、4 分の 1 が不満を感じていたが、耐用性は十分なものと思われた。

3. 低用量ピルを使わない最も大きな理由

ピルを使わない大きな理由として「副作用が心配」と考える女性は未だ多く半数を占めている。この副作用神話はなかなか払拭することはできないようだ。この副作用に対するリスクを感じているものは未婚女性に多く、しかも 35 歳以上に多くみられていたことは性交頻度とのかかわりを否定できないように思われた。未婚女性のピル服用者は 7.5%と最も多かったが、IV 章で述べた性交頻度をみると月に 1 度もないものが 65.0%と最も多かったことから、彼女らは妊娠をあまり考えないため強く否定するという図式が垣間みえたと考える。それはピル服用の多いのが既婚の 35 歳未満の女性であり、性交頻度も週 1 回以上が 14.4%と高いことから肯げるところである。

このように妊娠のリスクを強く避けなければならないグループにおいて副効用の利点が理解されてくれば低用量ピルの服用は必然的に高まっていくのではないかと思われた。

第Ⅷ章：子宮がん予防ワクチンについて

1. 子宮頸がん予防ワクチンについて

子宮頸がん予防ワクチンが 2009 年 10 月に承認され使用が可能となってきた。この予防ワクチンに関する周知度について問いかけている。男性は「知っている」が 285 名 (42.5%) と過半数を割れているが、女性は「知っている」681 名 (78.4%) と 4 分の 3 が周知していた。

表 1-1. 子宮頸がん予防ワクチンの周知 (男性)

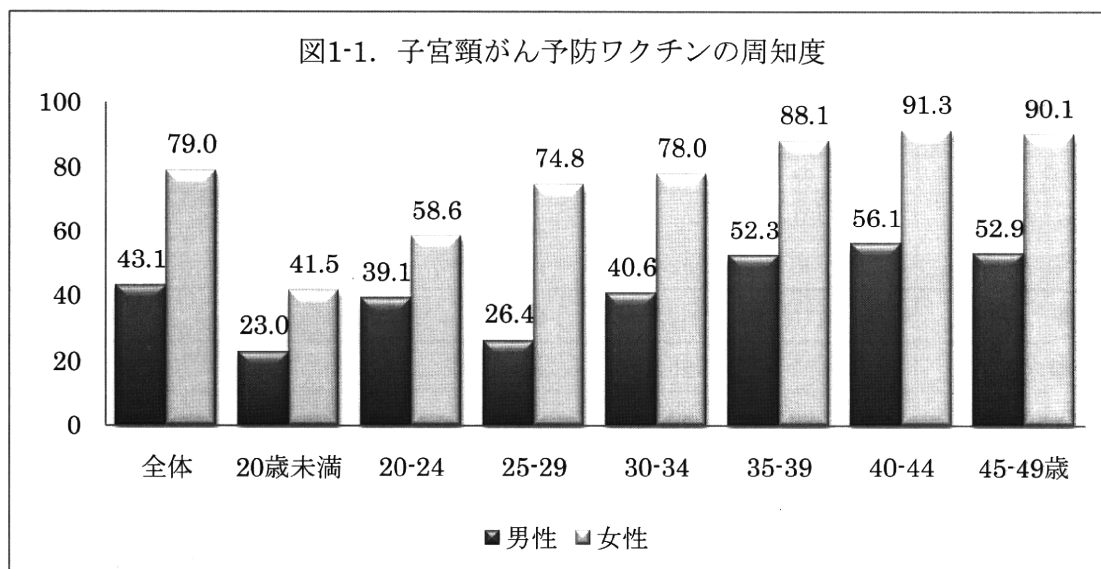
	知っている		知らない		無回答		総計
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	
男性	285	42.5	377	56.2	9	1.3	671
16-19 歳	14	23.0	47	77.0			61
20-24	25	38.5	39	60.0	1	1.5	65
25-29	28	26.2	78	72.9	1	0.9	107
30-34	41	39.8	60	58.3	2	1.9	103
35-39	68	51.1	62	46.6	3	2.3	133
40-44	55	56.1	43	43.9			98
45-49 歳	54	51.9	48	46.2	2	1.9	104

表 1-2. 子宮頸がん予防ワクチンの周知 (女性)

	知っている		知らない		無回答		総計
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	
女性	681	78.4	181	20.8	7	0.8	869
16-19 歳	27	41.5	38	58.5		0.0	65
20-24	58	58.0	41	41.0	1	1.0	100
25-29	83	74.8	28	25.2		0.0	111
30-34	92	78.0	26	22.0		0.0	118
35-39	140	86.4	19	11.7	3	1.9	162
40-44	136	90.1	13	8.6	2	1.3	151
45-49 歳	145	89.5	16	9.9	1	0.6	162
総計	966	62.7	558	36.2	16	1.0	1,540

図 1-1 は無回答を除いて周知度を示したが、男性は 30 歳後半から周知度が 50%を超えているが、女性に比べ周知度は極めて低いことが示された。女性は 20 歳後半から 70%を超え 40 歳代では 90%となっていた。

女性の20歳前半の58.6%と後半の74.8%の間に既に有意差($p<0.05$)を認めた。しかも、30歳前半と後半との間にも有意差($p<0.05$)を認めた。



未既婚別についてみたのが表 1-3 (男性) と表 1-4 (女性) である。未既婚全体でみると既婚者の平均年齢が未婚に比べ高いため比較はできないが各同世代で比較することは可能となり、男性においても有意差はないものの各世代間では既婚者が高値を示していた。

女性も同様のことが指摘でき、35-44歳の世代において既婚者が有意($p<0.05$)に高値を示していた。

表 1-3. 子宮頸がん予防ワクチンの認知について（男性）

	知っている		知らない		無回答		総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
男性	285	42.5	377	56.2	9	1.3	671
既婚	164	50.5	159	48.9	2	0.6	325
25歳未満	2	100.0					2
25-34歳	31	36.5	54	63.5			85
35-44歳	91	56.2	70	43.2	1	0.6	162
45歳以上	40	52.6	35	46.1	1	1.3	76
未婚	118	34.5	217	63.5	7	2.0	342
25歳未満	37	29.8	86	69.4	1	0.8	124
25-34歳	38	30.4	84	67.2	3	2.4	125
35-44歳	30	45.5	34	51.5	2	3.0	66
45歳以上	13	48.1	13	48.1	1	3.7	27
未既婚不明	3	75.0	1	25.0			4
35-44歳	2	66.7	1	33.3			3
45歳以上	1	100.0					1

表 1-4. 子宮頸がん予防ワクチンの認知について

	知っている		知らない		無回答		総計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
女性	681	78.4	181	20.8	7	0.8	869
既婚	425	87.6	56	11.5	4	0.8	485
25歳未満	10	71.4	4	28.6			14
25-34歳	94	79.7	24	20.3			118
35-44歳	203	91.0	17	7.6	3	1.3	223
45歳以上	118	90.8	11	8.5	1	0.8	130
未婚	252	66.8	123	32.6	2	0.5	377
25歳未満	74	49.7	74	49.7	1	0.7	149
25-34歳	79	73.1	29	26.9			108
35-44歳	73	82.0	15	16.9	1	1.1	89
45歳以上	26	83.9	5	16.1			31
未既婚不明	4	57.1	2	28.6	1	14.3	7
25歳未満	1	50.0	1	50.0			2
25-34歳	2	66.7	1	33.3			3
35-44歳					1	100.0	1
45歳以上	1	100.0					1